

Hawaii English School Trip

9/18～9/25 2018

Tokai Shoyo Junior High School

№11 Hawaii 感想文(1)



(左) 18日学校出発



(左) Casey から修了証

1 3年E組 20番 氏名 野上 愛加

研修全体の感想

タイトル ハワイ研修をおえて

ハワイ研修ではいろいろなことを学びました。毎日あった英会話の授業では、ドルやセント、チップのことを学んだし、言い方などもたくさん学びました。最初のうちは緊張していて、全然はなせなくて授業にならなかつたけれど、ゲームをしているうちにたくさん発表するようになって明るく楽しく授業をすることができました。スピーチの授業では、難しい英単語が多くて理解できませんでした。でも理解しようとかんがえているうちに「そういうことか」と分かることが多くなって楽しくできていました。英会話やスピーチの授業では、理解しようとするのが大事だということを学びました。先生は、だれも助けなくても、ポーンとしていても頭に入ってくる日本語とはちがって、理解しようとしなくてはいけません。だから授業に集中して楽しい時間を過ごせたんだと思います。コオリナビーチでは、海がすきとおるようになってた。日本とはちがって砂が黒で、波は黄色。ほて、生まれて初めてあんなきれいな海を泳ぎました。3時間もあんなにすぐ短く感じました。ダイヤモンドヘッドでは、下から見ていたらすぐ大変そうでしたが、登ってみるとそんなに大変ではなくて25分ほどで登ることができてそこから見た景色は本当にきれいでした。たくさん写真を撮りました。アラモナリゾートセンターは、本当になくてダイヤモンドヘッドを登った私たちはすぐ足が痛くなりました。少しはかわかっていた。ハワイ研修はとにかく楽しくて、今でもまだに行きたいです。一生の思い出です。

19日の朝食



Kristina 先生の Speech

3年A組 11番 氏名 梶山 未夢輔

研修全体の感想

タイトル コミュニケーションとは

今回の研修で学んだことは、コミュニケーションのあり方についてだ。例をあげると、学校で使う英語と英会話のうまい違い。文法的にはbe動詞を使う所を省略しても会話になりたつという事だ。文法を重視して構文するのには時間がかかり伝えたいことを伝えることができない。これは日本人がしかるな、あんな返事と同じだ。文法も完璧まで伝えることにこだわった事はないか。文法なんか無視しても、度胸とノリさえあれば大抵は通じる。結局伝えれば良いのだ。買い物や研修の時もこの場所を聞きたくて「Where is the cash register?」という所を「Where can I pay this product?」と聞いた。そしたら店員は指さして「あそこ」と言ってくれた。最後は「thanks! your welcome!」のやりとりをした。会話で大切なのは喜怒哀楽をしっかりと伝え、相手に話したい意欲を見せることだ。この記録では学んだコミュニケーションについて書いたが、他にも授業制度やセキュリティシステムの違いや類似点なども知ることができた。実と有責任なハワイ語学研修旅行であった。

3年D組 16番 氏名 西村 玲二

研修全体の感想

タイトル 充実したハワイ英語研修旅行

師は、2018年9月18日から9月25日まで、ハワイ英語研修旅行に行ってきました。6泊8日というとても長え間に感じる期間だけれど、実際に行ってみたら、あっという間に終わってしまったという感じでした。自分がハワイに行き、感じたことは、自分が言いたいことや、してほしいことを相手に伝えることは、難しいことです。アメリカ人は、ハッキリと大きな声で言わないと、伝わりません。でも、日本語でしゃべっても伝わりません。英語でいかに言いたいことが言えるかが、とても大切です。6泊8日の中で大切なことでした。最終日にあったスピーチは、自分なりに言えたのでよかったと思います。この6泊8日の中で、たくさんの観光地や、ショッピングにも行きました。観光の中で一番印象に残っているのは、ダイヤモンドヘッドです。そんなに登るのは、時間がかからないけど、頂上からの景色は最高でした。また、ショッピングでは、お土産を買ったり、おもしろいお土産を買ったり、最後に、現地で案内してくれた人や、この先生方へ、ハワイに行かせてくれた、親に感謝したい。